

# マルドリ栽培での利用方法

act-node

:::hero{placeholder="マルドリ方式で管理されたかんきつ園の写真（マルチで覆われた樹冠下と点滴チューブ）と、アクト・アップの

## マルドリ栽培での利用方法

マルドリ方式（マルチシートで土壌を覆い、点滴灌水で水分・養分を管理する栽培方式）のかんきつ栽培で、アクト・アップの水ストレスと養分のきめ細かなコントロールが品質（糖度・酸度）を左右するため、日々の観察・記録が効果を発揮します。

...

### 想定する運用

- **圃場登録:** かんきつ園を区画単位で「場所」として登録
- **灌水・施肥:** 点滴灌水のスケジュールと実施を記録
- **環境モニタリング:** TempHawkで気温・湿度・土壌温を自動記録
- **生育観察:** 花芽・着果・果径の観察メモを日付付きで記録
- **収量・品質:** 収穫日・収量・糖度・酸度を記録、グラフで経年比較

### 初期設定の流れ

#### 1. 記録テンプレートを選ぶ

「かんきつ（マルドリ）」用のテンプレートがあれば選択、無ければ「記録テンプレート」で記録項目を登録するを参照して独自テンプレートを作成します。

#### 2. 場所（圃場）を登録する

区画・樹列単位で場所を登録し、マップ上で色分け（早生/中生/晩生、定植年等）します。詳しくは場所を登録するを参照。

#### 3. センサーを設置する

TempHawkを園内に設置して気温・湿度を記録します。土壌センサーがある場合は同じ仕組みで受信可能です。詳細はTempHawk 温湿度センサを参照。

### 日々の運用

（灌水・施肥・防除の記録フローを後続PRで追記）

### 生育の観察とグラフ化

（開花・着果・果径の時系列グラフ、気温との相関表示を後続PRで追記）

## 収穫と品質レポート

(収量・糖度・酸度の記録、ロット別品質レポートの出力を後続 PR で追記)

:::troubleshoot{title="マルドリ運用でつまずきやすい点"}

- **症状:** 点滴灌水の実施記録が抜けやすい
  - **原因:** 自動化されている場合、記録入力が後回しになる
  - **対処:** 灌水コントローラの制御ログ CSV を週次でまとめて取り込むか、Webhook で自動転送
- **症状:** 収量記録が品種混合で集計できない
  - **原因:** 圃場（場所）単位に品種を紐づけていない
  - **対処:** 場所のメタデータに品種を明記し、レポートで品種フィルタを使う

...